

5月・6月の管理ポイント

5月6月は、ベントグラスの生育適期です。しっかりとした根を作ると共に、夏を乗り越えるための準備をしましょう。

当社Webサイトにて
バックナンバー掲載中
<http://www.tomo-green.com/>



高温耐性向上

ヒートファイター

ヒートファイターは、夏の厳しい暑さを生き延びる為のお勧め資材です。ヒートファイターを処理すると、植物自体が持つ高温耐性が活性化し、通常では弱体化・致死してしまう程の高温でも生き延びられるようになります（裏を参照ください）。梅雨入り前後から定期処理する事で、ヒートファイターの効果を最大限引き出すことができます。

使用量：0.5ml/m² 散布水量：100-500ml/m² 散布間隔：14日



ベントの生育適期です
土壤水分環境を整えましょう

レボ (REVO)

5月6月は、ベントグラスの生育適期です。生育しやすい土壤水分環境を整え丈夫で健全な芝を育てましょう。レボは、「地際を乾燥させる（病害や藻を防ぐ）」「根圏の水分を少なめに保持する（気相の割合が増えるので根が十分な酸素を得られる）」「毛管水が繋がる（根が水を吸ったら、即、周りの土壤から水が供給される）」ので、土壤水分環境を、ベントグラスの生育に適した状態に保つことができます。土壤水分環境を常に良い状態で保つため、定期散布がお勧めです。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml~500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回~2回



土壤中の有害物質除去

光合成細菌

土壤中に発生する硫化水素やメルカプタンなどは、イヤな臭いがするだけでなく、根を痛めます。光合成細菌を処理して有害物質を除去しましょう。光合成細菌は、硫化水素などを分解するだけでなく、他の有用微生物の餌となるアミノ酸やATP、ADP（高エネルギーリン酸化合物：補酵素）などを分泌し、有用な土壤微生物の住みやすい環境を作ります。サッチリムーバーと組み合わせると、サッチを効率よく分解できます。

使用量：1~2ml 1ℓ/m²散布 月1~2回



光合成低下中の
エネルギー補給

グリーンメカ

梅雨時期は、日照不足で芝の光合成が低下します。糖・アミノ酸をたっぷり含んだグリーンメカで足りないエネルギーを補給しましょう。

使用量：2-10ml/m² 散布水量：1ℓ/m²



有機物の分解を促進

サッチ・マネージャー

自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある有用菌を選抜した微生物資材です。様々な土壤環境に適應できるように、16種類の有用菌(乳酸菌11種、枯草菌3種、酵母菌2種)で構成されています。製剤1g当たり約400億個の菌配合で土壤中でも安定した効果が期待できます。

使用量：ラフ・FW 0.1-0.2g/m² グリーン 0.5g/m² 散布水量0.2~0.5ℓ/m²

ヒートショックプロテイン



今回は、近年話題の「ヒートショックプロテイン」のお話です。

- ・萎れたレタスをお湯につけてから水に浸けるとシャキッと、瑞々しさが保たれる
- ・42℃のお風呂に10分浸かり一定時間体温を上げると免疫向上、疲労回復、美肌...etc.効果がある

TVや雑誌などで特集が組まれているので、聞いたことがある方、実践されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。これらは、「ヒートショックプロテイン」を利用した方法です。

この「ヒートショックプロテイン」は、殆どの生き物が持っている防御機能の1つで、芝でも確認されています。

「ヒートショックプロテイン(HSP)」とは

生育適温より高い温度に晒された際に細胞内で合成されるタンパク質です。

(高温だけでなく、光、水、病害などによるストレス、特定の物質※に触れる事でも合成されます)

壊れたタンパク質を補修し、光合成を活性化させ、防御機能を向上させる働きがあります。

植物は、生育適温を大きく上回る温度に晒されると、通常はタンパク質が壊れ、生理機能が滞り、弱体化・致死しますが、ヒートショックタンパク質が出現していると、タンパク質が壊れても、補修され生理機能が活発化するため、通常では耐えられない温度に晒されても生き延びることが出来ます。

※当社が4月に新発売したヒートファイターは、HSPを活性化させる特定の物質を含んだ製品です

ヒートショックプロテインの働きと、芝のダメージを軽減する仕組み



致命的なストレスを受ける前に小さなストレスを経験させることで芝自身を持つ防御機能が向上し、強い芝になります